

ミライシード夏の事例大共有会 質問回答一覧

株式会社ベネッセコーポレーション

	質問	回答	回答者
1	<p>タブレットを使うためのある程度のスキルが必要になると思います。特に、低学年の場合、国語の授業をしているのか、タブレットの使い方を指導しているのか分からなくなることがあります。</p> <p>①授業の中で使い方を教えていくのでしょうか？ ②他の時間を使って基本操作を教えていくのでしょうか？</p>	<p>②本来ならば、学校裁量の時間の中でリテラシーを身に付けるための時間を、全校で計画的に立てて行うことが必要です。しかし、最近は学校裁量の時間を確保するのがどの学校でも難しく、課題となっています。</p> <p>①②のような実態の中で、授業の中で少しずつ身に付けていくことが大切だと思います。そこで、事例でお示したように、指で印を入れたり、文字を書いたり、写真を撮ったりする中で、少しずつ身に付けていきましょう。</p>	倉澤先生
2	<p>思い出しながら書く活動までは、（タブレットでしくみやつくりを読み取っているとき・友達と交流しているとき）考えを書く活動はなかったということですか？画像に印くらいはつけていたのでしょうか。やってみたいのですが、考えを覚えていられるのかに心配があります。</p>	<p>子供によっては、紹介シートにメモしている子もいましたが、多くの子は、特に記録はしていませんでした。事例の最後の紹介ノートに個人で記録しているところを見ていただくと分かる通り、子供たちは、授業が始まって35分以上立っているのに、全員集中して取り組んでいました。タブレットを見ながら思い込んでいる子もいました。是非、子供の力を信じてトライしてみてください</p>	倉澤先生
3	<p>タブレットを使って考えをつくる学習では、ノートは使わなくてもよいのでしょうか。ノート指導の重要性や学校全体で統一していくことも学校で言われたりするので、戸惑っています。</p>	<p>現在は、過渡期ですから、色々なやり方があると思います。学校全体で共通理解して行うことが大切です。先生や子供のICT活用能力によっても異なってくると思います。最初は、ノートに書いて、それをタブレットで写真をとって共有するという方法でやっていけばよいのではないのでしょうか。ただ、近い将来、ノートをとるということがどのようになっているか、考えておくことも必要だと思います。現在、自分の仕事のどれくらいペンで文字を書いているでしょうか。子供たちの将来は、今よりもっと変化するはずで。そうした変化に対応できる資質を身に付けていくことも大切だと思います。</p>	倉澤先生
4	<p>児童が話す人数を決める、とありましたが、いつも同じ人との活動になってしまいます。解決策はありますか？</p>	<p>やはり、経験が必要だと思います。最初は先生が人数を決めて、徐々に子供たちに考えさせるようにしていく。その段階で、自分で色々な人と色々な人数で話し合った人を大いに賞賛してあげることが大切だと思います。</p>	倉澤先生
5	<p>協働的な学びの仕方ですが、自分の考えを持ってなかったり、自信がなくて表現しなかったりする児童が毎回複数人いた場合、教師の支援が行き届かないのではないかという不安があります。その場合は、課題の立て方に問題があるのでしょうか。</p>	<p>そうした子が多くいる場合は、話し合う前にできるところまでをタブレットで提出させ、全員で共有します。考えがうまく浮かばない人は、友達の考えを参考にしていることを伝え、その後に対面での協働的な学びに入っていくとよいと思います。この場合も、まだ上手く考えを持っていない子がいますので、友達がアドバイスできるような関係を日常から作っておくことが大切です。</p>	倉澤先生
6	<p>今回事例紹介をしてくださった小学校では、系統的なICT活用が学校全体としてなされているように思いましたが、まだまだICTやタブレット操作になれていない生徒がいる学校も多いと思います。生徒が学習のためにICTを活用するには、ICTに慣れるということとはとても大切なことだとは思いますが、ICTに慣れるために学校や授業でまず取り組むべきことは何か教えていただけたらと思います。</p>	<p>1の質問でも申し上げましたが、とにかく簡単なことから始めるとよいと思います。観察する植物の成長やノート等を写真で撮ったり、指で印や文字を書いたり、難しい使い方を考えずに、先生自身がこんなことだったら簡単にできるなという自分の活用能力に応じて使うことが大切です。</p> <p>先生のタブレット1台での活用（先生が体育の運動の様子を動画にとってその場で助言）。グループに1台での活用（家庭科で玉結びの動画をグループに1台のタブレットに入れておく）。グループに複数台での活用（雲の動きを、四方の空を一齐に動画にとって比較する）。</p>	倉澤先生
7	<p>私もムーブノートを活用して書く力を高めたいと思っているのですが、子供のタイピングスピードはどのくらいでしょうか？ また、タイピングは日頃から練習などされていますか？学校の取組としてキーボードの能力を向上させる取り組みがあれば教えて頂きたいです。</p>	<p>昨年度の2学期から、3年生以上の児童は『キーボー鳥』というタイピングの練習を隙間時間に行っていました。今年度は特にタイピングサイトなどは指定していませんが、児童は休み時間にさまざまなタイピングサイトを自主的に行っています。仲間同士で教え合いながら遊び感覚で行っているようです。昨年度からの積み重ねがあるので、今年度受け持つ5年生のタイピングスピードは、ほとんどの児童が速いのもかもしれません。一方で、タイピングのために必要なアルファベットを覚えることが難しい児童もいます。そういう児童は、Chromebookの手書き機能を使っています。</p>	和田先生
8	<p>要約するためにどれくらいの時間をとったのか。いつ時間をとったのかをおききたいです。</p>	<p>要約するための時間は、はじめは10分と指示を出しています。ただ、様子を見て5分追加することもありますので、現時点では15分間かかる児童がほとんどです。</p>	和田先生
9	<p>活動がゆっくりな児童へは具体的にどのような声掛け、支援をしたのかお聞きしたいです。</p>	<p>活動がゆっくりな児童への声かけや支援は、オンラインツールでも紙媒体中心の授業でも同じだと思います。例えば、書きたいことが決まらない児童には、いくつかアイデアを出して選べるようにするなど個々の児童がどこでつまづいているかをまず様子を観察し、その児童と対話する中で、一緒に伴走して学びを進めています。</p> <p>また、書くことが決まっていて、完成までに時間がかかってしまいそうな児童には、『今日は④まで完成しておく間に合いそうだね』など、個別に締め切りを具体的に提示しておく、その児童なりに調整している姿がみられます。</p>	和田先生

10	書く活動でタブレットを使うのは、個別に進めることができるとも良いと思いました。「書く」の単元では、タブレットで終える単元と紙媒体で鉛筆で書くいわゆる作文をする単元と使い分けが必要だと思うのですが、教材によって使い分けられているのでしょうか？その際の使い分けの時のポイントは何でしょうか？	書くことに苦手意識がある場合は、タブレットで書くことに慣れることができると思います。タブレットだと簡単に何度も書き直すことができますので、子どもたちの実感としても書くことに対するハードルが低くなるようです。 今回の紹介した事例でタブレットを活用した理由は、スライドでの発表を目標としていたためと書くことへの苦手意識があったためです。 ただ、今回の紹介した事例について、例えば書いたものを掲示することが最終目標としたら、タブレットで書いたものを印刷することが本校では難しいため紙媒体にして仕上げたかもしれません。 『書く』活動のゴールの姿をどうしたいかによって、タブレットを使うか、紙媒体を使うかが変わると私は思います。 また、以前、卒業文集をPCで打ち込み、教師が添削し、最終的に完成させたものをプリントアウトしてお手本にし、本番の用紙に手書きで書くという活動をしていると聞いたことがあります。タブレットをうまく活用することで、卒業文集へかける時間も減るようです。	和田先生
11	学校全体での活用や意識統一が取り組んでいくときに大切だと思うのですが、どのようにすすめられているのか知りたいです。	とにかく職員室作りだと思います。みんなで学ぼうとする姿勢になるところからかと思えます。そのためには、自分が一番みなさんから学ぶ、一番汗をかくという気持ちを持ち続けることが大切かと思っています。うちは週1時間研修をおこなっています。任意です。	庄子先生
12	ミライシードを授業で活用したい思いがとでもあります。ですが、ノートに残したい気持ちもあります。もうこの考えは古いのでしょうか？学校でたくさん活用されている先生方が多いので、是非どうお考えなのか教えていただきたいです。	ノートでよいと思います。私もノートのことの方が多いです。しかし、長期的な蓄積やこれからの時代のことを考えたら、デジタルの活用も考えていかなくてはいけないと思っています。	庄子先生
13	今回は、「アイズプラネット」という物語文学の作品での事例でしたが、説明文や言語的な分野、古典文学での活用法も「これは！」というものがあれば教えていただきたいです。	今年の4月にミライシード活用相談会というウェブセミナーに登壇いたしました。そのときに、いくつか事例を紹介しております。 ミライシードファンサイトにアーカイブがありますので、もしよろしければそちらをご覧ください。 【2022年4月26日開催】ミライシード活用相談会 <a href="https://www.youtube.com/watch?t=855&amp;v=xeNQhD5Y0vs&amp;feature=youtu.be">https://www.youtube.com/watch?t=855&amp;v=xeNQhD5Y0vs&amp;feature=youtu.be</a>	村山先生